



横須賀市陸上競技協会 競技会実施ガイドライン

【第6版】2023年3月20日（月）

～新型コロナウイルス感染拡大を防止し、競技会を継続して開催するために～

このガイドラインは、新型コロナウイルスの感染拡大防止を継続し、当協会が「不入斗公園陸上競技場」を使用して競技会を実施することを想定して策定しました。

新型コロナウイルス感染拡大の収束の兆しが見えない中ではありますが、競技者の皆さまが安心して競技会に参加できるように、このガイドラインに沿って競技会を運営してまいります。競技者、指導者、そして競技役員の皆さまにおかれましても、各自で十分な感染拡大防止対策を行ったうえでご参加いただければと思います。

1 競技会開催にあたっての基本的注意事項

(1) 3密（密閉空間・密集場所・密接場所）を回避する。

★不入斗公園における上記の対象と想定される場所

□事務所下トイレ □多目的トイレ □器具庫 □写真判定室 □各団体待機場所 □招集所
□フィニッシュライン前方 □記録掲示場所 □本部ダッグアウト内 □フィールド種目の待機テント

◆競技役員の取組

- ① ソーシャルディスタンス（約2m）を極力確保する。
- ② 開・閉会式や種目表彰は実施しない。
- ③ 写真判定室、器具庫、更衣室等の換気を行う。

◆競技者の取組

三密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つような行動を徹底する。

(2) 感染症対策

◆競技役員の取組

- ① こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
- ② マスクを着用し、咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。
- ③ 競技者との接触を減らす工夫をする。
- ④ 発熱者がでた場合は、関係機関へ相談をし、顧問・保護者と連携をとり、速やかに帰宅させる等の対応をする。
- ⑤ 65歳以上の方や基礎疾患を持っている競技役員は、出席の可否についてご自身で判断していただく。

◆競技者の取組

- ① 手洗い・手指の消毒、洗顔を徹底する。(競技用具使用後など)
- ② 手・手指の消毒を行うための消毒液を用意すること。
- ③ ゴミは持ち帰りとする。特に体液の付着したゴミは袋に入れて処理するなど注意を払う。
- ④ 声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ⑤ 体調管理を万全にする。【継続】

(3) 主催者としてすべきこと

- ① 競技会開催地および医療機関の協力を得る。
- ② 三密を解消する工夫を徹底する。

(4) 競技会に関わる全ての人(競技者・チーム関係者・大会競技役員など)がすべきこと

- ① 三密を避けて行動することを徹底する。
- ② 体調管理を徹底する。
- ③ 競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、診療所(かかりつけ医等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ④ 連絡先の把握の必然性
大会主催者が全ての人との連絡先を把握することで不特定多数ではない状態を作ることが重要である。
また感染者が発生した場合に、保健所から大会主催者に対して、感染者本人及び濃厚接触者等への連絡をする為に、連絡先の提供を求められる場合があるので、必ず把握するようにする。

(5) 競技場に入場できる人は次の通りとする。

- ① 競技者
- ② 顧問(指導者)
- ③ 競技役員
- ④ 中学校・高等学校のマネージャー、生徒役員、待機場所の荷物管理をする生徒
※競技者と同様に「様式1」「様式2」を顧問に提出すること。
- ⑤ 小学生・中学生・高校生以外の競技者の待機場所の荷物管理をする人
※競技者と同様に「様式2」を本部に提出すること。
- ⑥ 小学生・中学生・高校生の保護者
※各自で作成した「様式5」を競技場入口の受付に提出をすること。
上記①～⑥以外の人(各校の卒業生等)

2 競技会実施（当日）の流れ

競技会前（競技会前日まで）

競技会に参加する全ての人（競技者・顧問・競技役員等）は競技会に参加するために、競技会 1 週間前からの体調管理を義務とする。

- (1) 中学校・高等学校の顧問および陸上スクールの指導者は、「大会前：新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」＝様式 1と「競技者の健康状況チェックシート及び参加確認書」＝様式 2を配布する。個人参加者は各自で用意する。
- (2) 様式 1に健康状態を記入する。
- (3) 中学校・高等学校については、各校顧問が責任をもって、チェックシートへの記入を指導する。

※様式 1～5 は横須賀市陸上競技協会の HP よりダウンロードできます。

競技会当日の朝

- (1) 小学生・中学生・高校生の保護者は、生徒の健康状態を確認した後、「様式 2」に必要事項を記入し、参加承諾の署名と押印をする。
- (2) 個人参加（社会人・大学生）の競技者等は、「様式 2」を各自で作成して持参し本部に提出する。
- (3) 各校顧問および陸上スクールの指導者は、記入済みの「様式 1」「様式 2」を生徒から回収して内容を確認し（保護者印など）、保管をする。その後、「参加状況報告書」＝様式 4に参加生徒数等を記入し、本部に提出すること。なお、体調につぎの点や、その他不安のある生徒・児童がいた場合は、大会参加や競技場滞在を認めず、家庭と連携を取り帰宅させること。

★参加や競技場滞在を認めないケース
・大会当日を含み、大会 1 週間前から 37.5 度以上の発熱がある。
・【様式 1】にチェックした項目が 1 つ以上ある。
・【様式 2】にチェックがない項目がある。
・その他、顧問が体調不良を理由に判断した場合。
- (4) 競技役員も競技者と同様に、「大会前：新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」＝様式 1で体調管理を行い、結果および当日の朝の体調がすぐれない場合は、競技役員として競技会への参加を控えること。なお、「様式 1」を役員受付時に提出し、紙のリストバンドを受け取る。
- (5) 小学生・中学生・高校生の保護者は「家族関係者用健康状況チェックシート」＝様式 5を各自で作成し、競技場入口の受付に提出をすること。
- (6) 2 日間開催の競技会では、2 日目についても同様の対応をする。

競技場への入場時

(1) 開門を待つ場合、他校生徒との距離を十分に保って待機をする。待機者が増え密になる場合は、競技場内に誘導し待機させる。(待機場所の準備が整わない場合)

(2) 各校の待機場所はあらかじめ決められた区画内を使用する。待機場所は主催者の事前抽選で決定する。(HP で事前に連絡する)

★待機場所の区画の考え方

- ① スタンドの 1 ブロックの半分 を 1 区画とする。
- ② 20 ブロックのうち、本部ダッグアウト横の 6 ブロックはフリーエリアとし、14 ブロック×2=28 区画を各校の待機場所とする。
- ③ スタンド後方のエリアは写真判定室付近と水道付近を除く部分を開放する。(32 区画)
- ④ 当日の参加人数により使用できる区画を割り当てる。
 - ・ 20 名以上…2 区画
 - ・ 20 名未満…1 区画
 - ・ 5 名未満…フリーエリアを利用

★時程例

6:30 協会理事集合・打ち合わせ

6:45 様式 2 回収・待機場所区画分け準備

8:00 開場

競技会前の準備

(1) 準備中は原則、マスクを着用する。準備終了後は手洗いを徹底する。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策で次の準備をする。

- ① 消毒液 □本部席 □フィニッシュテント □写真判定室 □器具庫 □トイレ出入り口
- ② ハンドソープ □水道各所
- ③ 医務員用の消耗品

競技会開始後【共通事項】

(1) 競技場の使用について

- ① 競技エリア（トラック・フィールド内）とウォーミングアップエリア（緑色の部分）に入れるのは、**競技者、競技役員、生徒役員**のみとする。
- ② 応援はスタンドのみとする。ただし、声を出しての応援は禁止する。
- ③ ウォーミングアップはホームストレートの外側を除き、トラックの周りの部分全てを利用する。密を避けるため、エリアを限定しない。
- ④ 保護者の応援は本部横のスタンドフリースペースのみとする。原則、各校の待機場所には近寄らないこと。

(2) 腰ナンバー標識について

各自で無地の布を用紙し、事前に本協会 Web サイトでレーンナンバーを確認した後、作成する。（太めの黒マジック、腰ナンバー用の安全ピンを用意する。）

(3) 競技結果の掲示場所を次の 2 か所に増設する。

- ① フィニッシュ地点前方のスタンド脇スペース（通常の掲示場所）
- ② 本部ダッグアウトの後ろ（普段使用しない入退場口がある場所）

競技会開始後【トラック種目】

- (1) スタート前までに着ていた衣類や履いていたランニングシューズ等は、バッグや大きめのビニール袋等に収納する。シューズの上に衣類を置くなどすると、風で散乱する可能性があるので徹底すること。また、付き添いはウォームアップエリアには入れないので、各自で管理を徹底すること。

※45 リットル程度の透明ビニール袋に氏名、学校名等を記入しておくことが好ましい。

- (2) スターティングブロックやハードル、スタートライン手前の消毒をレース終了ごとに行うことは困難である。よって、レース後は必ず手洗いをする。
- (3) フィニッシュ後は速やかにトラックの外に退場する。腰ナンバーは、待機場所に戻った後に外すようにする。
- (4) マーシャルの誘導により、手指の消毒を行う。その後、スタート地点に自分の荷物を取りに行く。
- (5) 給水で使用したカップは使い捨てとする。

競技会開始後【フィールド種目】

- (1) 待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保し、競技役員の指示に従う。
- (2) 練習待ちのために列を作る場合は、ソーシャルディスタンスを確保して並ぶ。
- (3) 競技中不用意に手で顔を触らないこと。
- (4) 終了後の手洗い、洗顔を徹底する。
- (5) 投てき物は自校のものを持ち込むことを推奨する。
- (6) 滑り止め（炭酸マグネシウムなど）はできる限り個人のを準備し使用する。
- (7) 競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するようにする。

競技会終了後

競技会終了後の体調管理を行う。

- ① 競技者は横須賀市陸協の HP から「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」＝様式 3 をダウンロードし、必要事項を記入する。
- ② 競技者はシートのチェックに該当する症状が出た場合、あるいは体調に不安を感じた場合は、保健所に相談するとともに中学生、高校生は顧問に、個人参加の方は陸上競技協会に報告をする。
- ③ 顧問は、生徒から上記②について報告を受けたら速やかに横須賀市陸協に報告をする。